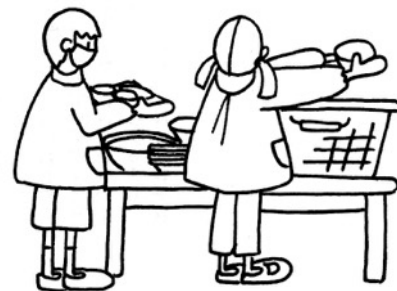


# だ み よ く り に

No.725 令和4年5月1日発行



## 萌える若葉に成長を重ねて 園長 和田美佳

みなさん、ラジオを聴きますか？

わたしは今まで縁がありませんでしたが、家族の勧めで、夜ご飯を作りながら聴くようになりました。ながらスマホは危険ですが、ながらラジオは家事に最適です。まだごく一部しか聴いていませんが、中でも金曜日、好きな番組がありました。しかもはじめの冒頭部分が特に好きで、あとは少し飛ばして一時間後のお悩み相談コーナーを聴いています。わたしがどうしてその番組を聴きたくなるのか……明確な理由があるのです。その番組の冒頭で、ラジオパーソナリティが必ず言う言葉があり、それを聴くためです。日常にほしい、ストンと心に落ちる言葉。どなたかにも響くことを願い、ここに載せます。「お仕事の方、病気・療養、子育て、介護、それぞれの生活を送る皆様、よくぞ金曜日までたどり着きました。本当にお疲れ様でした。」

さて、あっという間に5月ですね。進級・入園から1か月が経ちますが、どんなお気持ちでしょうか。特に新入生、進級組は毎日、大変な4月だったと思います。そのような中でも毎日登園したこと、それだけで花丸です。4月9日に行った入園式は、感染対策として、各クラスを半分に分けて二部制で実施しました。落ち着いた式で、良いスタートでした。

入園式の前日、年長組では、年少さんへのお世話について話し合いました。担任の先生の働きかけで、どんなお手伝いができるか、どう分担するかを話し合い、初めての登園日を迎えました。自分たちがしてもらった経験から、今度はお手伝いすることを心待ちにしていたようです。いざ当日、張り切っていた姿が印象的です。

これからも意図的に縦割りの交流を取り入れ、双方の子どもたちの思いやりや憧れを養います。

そして、そろそろお父さまの様子が気になり始める頃ではないでしょうか。「なにもしていない」「ひとりである」という言葉や、何も話してくれないなど不安になるようなことが出てくるかもしれません。もちろん、年齢によってその内容も様々ですが、成長途中の子どもたちなので、自然なことです。保護者の方から見えない世界を園で生きている子どもたちは、「今」の一瞬一瞬に一生懸命です。未来に気持ちが向いていて、過去を振り返るということをしないため、聞かれてもどうだったか答えないというのも仕方ありません(大人はそうもいかないですよ。過去、今、未来を見てしまうので、大変です)。見えないからこそ不安なお気持ちもわかります。何かありましたら、送り迎えの際などにお尋ねください。また、今年度も写真を通して日々の園内の様子をお知らせします。更新を楽しみにお待ちください。そして、連休中にご家族と共にゆっくり過ごすことで、頑張った心と体を休め、5月も元気に過ごしてほしいと思います。

今月の中旬以降に、幼児クラスは新園舎へ引っ越します。先日、途中ではありましたが、内覧してきました。木の温もりが感じられる雰囲気です。工事にあって、たくさんのご心配があったかと思いますが、ここまで順調に進んだのも皆さまのご理解くださり、見守っていただいたお陰だと感謝いたします。全てが済むまで安全に、そして子どもたちによりよい環境を提供できるように努めてまいります。今後ともご理解ご協力よろしくお願いいたします。